氏　　名 ： 岸川　善紀（KISHIKAWA　Yoshinori）
所属部署 ： 経営情報学科
職　　名 ： 准教授
学　　位 ： 博士（経済学）
専門分野 ： 経済学、経営工学
クラブ顧問： 柔道部（H29）

【研究テーマ】
1．公的統計を援用した地域の基礎的マーケティング
2．サプライチェーン・マネジメント（SCM）に関する研究
3．複雑系理論の経済事象への適用に関する研究

【担当授業科目】
経済学、生産管理論、多変量解析

【校務分掌】
学科就職担当

【所属学会・協会等】
日本生産管理学会、日本社会情報学会、経営情報学会、地域活性学会

【技術協力可能分野】
公的統計を活用した基礎的マーケティング。
ファジイ、遺伝的アルゴリズムなどを用いた複雑系事象の予測、推定、判別。

【業績・実績リスト】 以降、“年月日”の新しいものから順に記載すること
学術論文
1) 岸川善紀、根岸可奈子、松野成悟：“公的統計分析による地域の産業構造の変化と情報産業化に関する研究,” 生産管理学会論文誌 vol.23,No.1,PP.95-100,2016.4
2)時永祥三、岸川善紀：“サプライチェーン管理における小売り・製造業者間でのジャンプ過程を含む需要時系列の情報共有に関する分析と応用”，情報処理学会論文誌　数理モデル化と応用，　vol.7，no.2，pp.45-63，(2014.11)．
3)時永祥三,岸川善紀:“ジャンプ過程を含む変数で記述される需要関数を用いた商品開発投資先行・後発行動の分析とその応用,” 經濟學研究第 80 巻第 4 号 pp.31-53,2013.12.
4)時永祥三,岸川善紀：“平面上に配置された局所的交流をするエージェントへの外部入力による状態変化進行の特製分析とその応用,” 經濟學研究第 79 巻第 1 号 pp.21-38, 2012.6.

著書
1) 複雑系とシステムリスク分析

国際会議発表
1) Shozo Tokinaga, Yoshinori Kishikawa: “Valuation of Information Sharing in a Two-level Supply Chain facing Demands with Jump Diffusion Processes”, The 2011 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications, Paper ID:8050(in CD-ROM),Kobe(Japan), Sep 4-7(2011).

Copyright 2009 - National Institute of Technology, Ube College All rights reserved.

国内学会発表

1) 岸川善紀, 田川晋也:“訪日観光客の旅行目的と旅行情報源との関連性に関する研究,”情報経営学会第73回全国大会予稿集 pp.187-190, (2016.9).

2)岸川善紀, 根岸　可奈子, 松野　成悟:“訪日観光客の旅行目的と消費傾向に関する研究,”生産管理学会第44回全国大会講演論文集 pp.175-178(2016.9).

3)挟間雅義,杉山賢作,岸川善紀,田中正敏:“ブルウィップ効果における発注方式による最適意思決定,”生産管理学会第43回全国大会講演論文集 pp.275-278,(2016.3).

4)岸川善紀, 根岸加奈子, 松野成悟:“公的統計分析による地域の産業構造の変化と情報産業化に関する研究”, 日本生産管理学会第 43 回全国大会, pp.167-170,(2016.3).

5)岸川善紀:“中国地方における第 6 次産業化の状況について”, 2015 年社会情報学会(SSI)学会大会,pp.115-118,明治大学, (2015.9).

6)時永祥三, 岸川善紀:“マルチエージェントシステムにおける異質エージェント行動分析 -SCM 情報共有と雇用クラスター”, 情報経営学会第 68 回全国大会, pp.61-64, (2014.5).

7)岸川善紀, 嶋崎真仁:“書籍購入状況と図書館利用状況から見た書籍利用の地域性に関する実証分析”, 第 20 回社会情報システム学シンポジウム, pp.85-88, (2014.2).

Copyright 2009 - National Institute of Technology, Ube College All rights reserved.